

令和4年4月19日(火)

【第23回北陸地域連携プラットフォーム】

閉会挨拶

座長 中村 信一

本日は、最初に森田様から、鳥取県におけるワーケーション推進の取組ということで説明いただきました。

また、竹部様からは、地域に人を呼び込む仕掛け、オープンSABAEについて、詳細な説明をいただきました。

続きまして、北陸財務局からは、新たな人の流れの創出に向けた戦略的取組の着眼点と、取組事例の説明をいただきました。

鯖江市に関しましては、以前、地方創生の取組で鯖江市の先進的取組を説明いただきましたが、鯖江市全体として数年前と比べてさらに進歩していて、これはやはり我々が見習わねばならないことだと思います。

もう一つは、人がいかに大事かということ、本日、竹部様のお話を聞いて改めて感じた次第でございます。

また、質疑及び皆様の御意見におきましては、各々のメンバーの立場から、各々が抱えている現状や、認識されている課題、例えば地方には魅力的な企業がない等々の課題があげられました。ぜひ財務局におかれましては、本日出されたいろんな御意見を十分に汲み取っていただきまして、実用的な提案をいただけたらと思います。

最後にワーケーションと言いますと、昭和43年からアメリカに住んでいる同級生の話を思い出します。シリコンバレーに勤めている娘さんが、両親と一緒に、1週間、1か月とクルージングに出掛けますと、時々30分から1時間ばかりパソコンで仕事をしながら、クルージングを楽しんでいるとのこと。ですので、働く価値観もありますけれども、日本もそういうふうな社会になれば生きたワーケーションになるんじゃないかと、全く個人的な経験からですが、思う次第でございます。

本日も活発な御意見をありがとうございました。

以上